

会 議 議 事 録

1 会議名	平成18年度 第3回長岡市中心市街地構造改革会議
2 開催日時	平成18年12月11日（月） 午後6時30分～午後8時30分
3 開催場所	長岡商工会議所 3階 第1ホール
4 出席者名	<p>（委員） 田村座長、中出副座長、猪俣委員、今井委員、小川委員、北村委員、佐藤（愛）委員、佐藤（昭）委員、樋口委員、平井委員、平石委員</p> <p>（市民意見発表者） 市民代表 4名</p> <p>（事務局） 磯田都市整備部長、中野まちなか活性課長、渡辺まちなか活性課長補佐、坂田まちなか活性課長補佐、葦沢再開発係長、伊津拠点係長、名塚主査、吉田主任、多田主任、早川主任、小林（悟）主事、山崎総務部長、田口行政管理課長、三川商業振興課長補佐、堀交通政策課長</p>
5 欠席者名	高野委員、藤井委員、藻谷委員、北沢アドバイザー
6 議題	<p>（1） 市民意見の聞き取り</p> <p>（2） まちづくりの視点からの行政機能再配置について</p>
7 審議結果の概要	<p>○ 市民意見の聞き取り</p> <p>【市民代表①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚生会館地区は、最高の立地条件。「コンベンションホール兼市役所」の形で、100年もつ日本海側一のものをつくって欲しい。また、市民に寄付を求める等、みんなでつくりあげたい。 ・ 展示場所が少ないため市民が使える場所を検討して欲しい。 ・ 駐車場回数券は複数の種類があるため、共通にして欲しい。 ・ 市役所が中心市街地に来て職員の半数以上が公共交通機関を利用すれば、駐車場が増え渋滞は緩和するし、飲食の影響でまちも潤う。 <p>【市民代表②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模ホールは良いが、市役所本庁建設は疑問。本庁があると、交通渋滞が起きて、まちなかに来る人を逃がしてしまう。駐車場の確保だけでなく、中心街へ行きたくなるまちづくりが必要。 ・ 中心市街地活性化は人が集まることが大前提。活性化に向けた、構造改革は非常に良い。

【市民代表③】

- ・ 新庁舎は、厚生会館跡地と大手通り中央地区2・3箇所への配置を希望。誰もが気軽に入れるシティホールが良い。
- ・ 少子高齢時代は、交通機関終点に近い所が望まれる。渋滞は今後の道路整備で緩和するし、駐車場も十分対応可能だと思う。
- ・ 部署配置は十分検討して欲しい。議会も気軽に見られると良い。
- ・ アクセス向上や駅東西自由通路の整備が急務。
- ・ 簡素で行きやすい落ち着いた建築を希望する。最小の予算で最大の効果を出して欲しい。
- ・ 新庁舎が高層で許可が出れば、長岡花火の際の屋上開放を望む。

【市民代表④】

- ・ 高齢者、障害者の視点から意見を述べる。
- ・ 行政機能の配置は中心市街地が良いと思う。
- ・ 中心市街地が、行政、教育、住居、商店、そして福祉など新たな指向で活性化することを期待する。
- ・ 人が集まり心安らかになれる「都市のオアシス」が必要。人々の交流により、障害者理解が深まり、意識上の障壁も除去されていく。
- ・ 中心部は交通機関の結節点で高齢者にとって便利。多くは、徒歩、自転車、車椅子で向かう。まち全体のバリアフリーを期待する。
- ・ 障害者専用駐車場を完備して欲しい。現在は無く残念。
- ・ 行政と福祉団体の同一施設での協働による福祉の拠点形成を望む。

【委員意見】

- ・ 議会をガラス越しに見られるとよい。政治を身近に感じられる。
- ・ 独自性のある大ホールが欲しい。

○ 意見交換

【行政施設の中心市街地への配置について】

- ・ 厚生会館地区は、賑わいづくりの意味でホール、気軽に立ち寄れる意味で行政機能を導入するのが良い。
- ・ 平成の公会堂が基本であり、窓口機能を配置する。それ以外は交通ネットワークで分散させれば渋滞を緩和出来ると思う。
- ・ 分散した時は、全体がユニバーサルデザインでつくられ、人々の交流が図られると良い。
- ・ 行政機能のまちなか配置は、まちの魅力（人が集まるまち）を生むきっかけになると思う。
- ・ 大勢の人が集まる所には大きなシンボリックホールが必要。

【交通問題について】

- ・ パーク&ライドにして、無料シャトルバスを回せば活性化する。
- ・ 回遊してもらおう仕組みづくりが必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通問題は前提条件。 ・ 極論は歩いて回れる中心市街地。だが今は大勢の人が来るのを目指し、将来を考えながらケースごとに検討すると良い。 ・ スクランブル交差点をつくるのが良い。 ・ 土日祝日のみ駐車料金を30分100円とした。これを契機に民間や行政も検討して欲しい。 ・ 今は小規模駐車場が分散していて不便なので、ある程度のものが整備され使いやすいものが理想。 ・ 厚生会館地区の障害者専用駐車場は必要。また、駅裏に駐車し、歩く歩道を設置することも良い。 ・ 公共交通機関を今より使ってもらう仕組みづくりが必要。 ・ ピーク時だけを考えてやると失敗するため、ソフト戦略が大事。 ・ ソフトから始め、短期的ですぐ出来ることから攻めるのが重要。解決策は様々な手段の組み合わせで、官民の知恵が必要。 <p>○ 副座長による議論の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地構造改革は賑わいづくりであり、人が集まり交流が生まれること。その一助は市役所の中心市街地への配置。 ・ 市役所は、ある程度分散配置をして、まちに溶け込むのが良い。 ・ 厚生会館地区は、新長岡市のハレの場としての「平成の公会堂」機能を重視し、行政機能はそこに埋め込む形が良い。 ・ 交通問題は構造改革の前提条件であり、今後の議論の中で段階的に詰めていかなければならない。 ・ 行政機能だけではなく福祉等、様々な市民サービスの議論が必要。官と民との協働について考えることが大事。 ・ 中心市街地の位置づけや意味を整理し合意をとることが大事。 ・ 確固たる意思をもって構造改革をしていきたい。 <p>○ 次回の会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1月下旬～2月上旬に開催予定。 ・ これまでの議論をまとめた意見書(案)を提示する。書き方は、様々な意見が出たという内容にする。
8 審議の内容	
(1)市民意見の聞き取り	<p style="text-align: center;">【市民代表①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 脇野町在住の主婦で、市政モニターとして意見を提案している。 ・ 厚生会館地区は、駅から近く交通の便も良く、なおかつ県央である。最高の立地条件。 ・ 厚生会館地区は「コンベンションホール兼市役所」が良い。多くの人が集まる複合施設で、有名人のコンサートも出来れば良い。

- ・ 100年もつ日本海側一のホールが良い。予算が無ければ寄付を求め、市民みんなでつくりあげたい。例えば、市民に有料プレートを書いてもらい、それを埋め込む等。
- ・ 書道等展示場所が少ないため市民が使える場所を検討して欲しい。
- ・ 駐車場回数券は複数の種類があるため、共通にして欲しい。
- ・ 市役所が中心市街地に来て職員の半数以上が公共交通機関を利用すれば、駐車場が増え渋滞は緩和するし、飲食の影響でまちも潤う。

【市民代表②】

- ・ 宮内在住。
- ・ 中心部の構造改革を振り返ると、昭和29年に「長岡市のど真ん中に、市役所と警察があるのは、まちの発展に良くない」とのことから、市役所は柳原へ、警察は西千手へ移転した。昭和30年代前半には、大手通りの木造建物を鉄筋コンクリートにし、その後、民間の力で「長岡観光会館」を作った経緯がある。
- ・ 厚生会館地区に大規模ホールをつくることは良いが、市役所本庁をもってくることには疑問。理由は、職員や、市役所だけに用がある人の車で交通渋滞が起こるため。
- ・ 例え、駐車場が確保されていても道路が渋滞すれば人は逃げる。商店に魅力があれば、混んでいても来ると思うが。中心街へ行きたくなるまちづくり構造改革であって欲しい。
- ・ 市民課の窓口は支所でも出来るし市民センターもある。
- ・ 中心市街地活性化は人が集まることが大前提。活性化のための構造改革は非常にありがたいと思っている。

【市民代表③】

- ・ 金房在住。
- ・ 長岡は、県内第2の都市で交通の分岐点。昭和33年に厚生会館が完成し、昭和52年に現庁舎建設。どちらも耐震性の面で不安。
- ・ 新庁舎建設は、厚生会館跡地と大手通り中央地区2・3箇所への配置を希望する。誰もが気軽に入れるシティホールが良い。
- ・ 少子高齢時代は、交通機関終点に近い所が望まれる。交通渋滞は橋と通勤時だけであり、大手大橋4車線化と東西道路整備で緩和すると思う。駐車場は市の資料を見ると十分対応可能と考える。
- ・ 現在のマンションラッシュで生活基盤が中心部に集まる傾向が顕著。支所でも十分対応可能だろうが、交通機関終点近くに市役所があればより有利だと思う。
- ・ 部署配置はしっかり検討して欲しい。議会も身近になると良い。
- ・ 今後の合併も考慮し、アクセス向上や駅東西自由通路の整備が急務と考える。現在は高齢者には不便。

<p>委員</p> <p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡素で行きやすい落ち着いた建築を希望する。債務が多い中、最小の予算で最大の効果を出して欲しい。 ・ 長岡の花火は全国規模。現在は高層建築により中心部から見にくく、高齢者で河川敷に行けない人もいる。新庁舎が高層で公的に許せるなら屋上開放をして欲しい。 ・ 長岡がモデルケースになることを望む。 <p style="text-align: center;">【市民代表④】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中島在住 78 歳。障害者とは戦前から関わりを持っていた。そこで、高齢者、障害者の視点から意見を述べる。 ・ 中心市街地活性化を大きく期待している。市の資料も評価していて、結論は「行政機能の配置は中心市街地が良い」と思う。 ・ 中心市街地が、行政、教育、住居、商店、そして福祉など新たな指向で活性化することを期待する。 ・ 人が集まり心安らかになれる「都市のオアシス」が必要。人々の交流により、障害者理解も深まり、意識上の障壁も除去されていく。 ・ 中心部は交通機関の結節点で高齢者にとって便利。多くは、徒歩、自転車、車椅子で向かう。まち全体のバリアフリーを期待する。 ・ 障害者専用駐車場を完備して欲しい。現在の長岡には無く残念。 ・ 行政と福祉団体が、同一施設で協働している所は成功している。是非、これにより福祉の拠点をつくって欲しい。活性化へ向けて、団塊の人々のパワーを期待したい。 <p style="text-align: center;">【委員による意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所がまちなかに来るのは良いと思う。コンサートが出来る場所を望むが、無理ならギターを弾ける場所やDJブースが欲しい。 ・ 遊んでいる横で議会をガラス越しに見られるとよい。政治を身近に感じられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内第2の都市として中途半端なものにつくれない。やはり、つくるなら新潟に負けない独自性のある大ホールが欲しい。市民が「ここが中心なのだ」という意識をもてることが大事。
<p>(2)意見交換 委員</p> <p>行政管理課長</p> <p>委員</p>	<p style="text-align: center;">【行政施設の中心市街地への配置について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意見は、中心部が良いが分散か一括かは検討すべきとのことだったと思う。コスト問題も出たが、その辺の説明をお願いしたい。 ・ 一括、分散どちらも総額 105 億円（市役所のみで試算。現庁舎や柳原分庁舎等全ての費用を含む）かかるが、交付金等で市の実質的負担は、「一括で 45 億円」、「分割で 35 億円」。 ・ 市役所が来ても賑わいが出るとは思わない。 ・ 厚生会館地区は、賑わいづくりの意味でホール、気軽に立ち寄れる意味で行政機能を導入する。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 厚生会館地区は平成の公会堂が基本。市民意見に渋滞の件があり、一括配置だと確かに発生するが、窓口機能を駅に近い厚生会館に配置して、そのほかを交通ネットワークによる分散配置にすれば緩和出来ると思う。 回遊性について。サービスを考えると、普通の市民が回遊するべきではなくワンストップが良い。縦にある庁舎を横に配置し、市民が一番使う部署を駅近くに配置するのが良いということ。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた市役所を積極的に展開するのは全国的に初めて。「議会に気軽に行ける」、「職員の顔がよく見える」等、市民と接する機会が多くなるのが1つの形態となる。 「行政と福祉の協働」の意見は賛成。社会福祉協議会が近くにあり、行政職員もいてお互いの顔が見られれば新たな関係が生まれる。 平面に分散した時、中心市街地全体がユニバーサルデザインでつくられることが必要。人々の交流が図れる構造改革をやりたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 商業も賑わう中心市街地をつくりたい。 まちづくりの視点とは、まちの魅力をいかに高めるか。即ち「人が集まるまち」。ここが顔となって長岡を一目で紹介できる。行政機能のまちなか配置は、まちなかを魅力的にするきっかけとなる。コンパクトなまちづくりが必要で、その先導的事業になると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市役所がまちに来れば人口が増え、職員が公共交通を使うことにより、公害も減り商店も賑わう。 地震の際、人が大勢集まる所には大きなシンボリックホールが必要だと実感した。平成の公会堂が重点で、その脇や中に行政機能が出来れば良いと思う。機能性があるホールなら使い回しもできる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> もっと身近に横につながりのあるまちが欲しい。この会議を通して、今では、まちなかに市役所が来て平面で色々と繋がっていくことに納得が出来た。だが問題は交通対策で、うまく市民を集めるための工夫を考えながら、検討を重ねていくことが必要だと思う。
委員	<p style="text-align: center;">【交通問題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者と車どちらを優先するか。両方を考えると、やはり郊外に駐車場を設けるパーク&ライドが良い。 中心市街地の商業者も業種転換を考える覚悟でまちづくりの話をしないと進まない気がする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 車の人は、なるべく目的地近くに停め、早く帰りたいもの。中心市街地に来たからには回遊してもらおうという仕組みづくりが必要。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 交通問題は前提条件。メリット、デメリットを検討することが大切。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 最終地点を目指すのか、ケースごとに考えるのか。極論は歩いて回れる中心市街地だが、今はとにかく大勢の方に使ってもらうことが

委員	<p>大事。新たに来てもらう人を増やすためにも駐車場を安値にする等工夫して使いやすくする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公会堂が出来て問題が出てきたら、また検討すれば良い。個人的にスクランブル交差点をつくるのが良いと思う。 ・ 商店街振興組合では、ホクギン裏駐車場で、土日祝日のみだが駐車料金を従来の「30分150円」から「30分100円」とした。これを契機に民間や行政もついてきて欲しい。 ・ 中心部にまとまった駐車場が整備されリーズナブルなものが理想。今は小規模なものが分散していて不便。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地はとびとびで駐車場があるのが現状。やはり大規模で、ある程度のものが前提だが、出来ない状況にある。それならば、郊外に駐車して、無料のシャトルバスを回せば活性化すると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なことを変える必要があるが一気に出来ない。将来を考えながらケースごとに議論していくことが大事。ホールならある程度の規模はあるし、既存駐車場の使いやすい仕組みも考える必要がある。複数駐車券の共通化はすぐ出来るのではないかな。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理想はパーク&ライドを目指すこと。人が集まる厚生会館と考えると、この場所に駐車場をつくるのは良くないが、障害者専用駐車場は必要だと思う。全体を考えながら、パーク&ライドの第1歩として、駅裏に停めて歩く歩道を設置することは良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通機関を今より使ってもらう仕組みをつくる必要がある。 ・ ケースごとに考えるのは賛成だが、前提は、自家用車が今よりも増えない施策にすること。 ・ ホールでのコンサートは毎週開かれる訳ではない。ピーク時だけを考えてやると失敗する。シャトルバス等ソフト戦略が大事。検討すれば駐車場はつくらなくて良い。公共交通機関乗換え時の料金発生は無料にする等工夫が必要。 ・ ハードよりソフトから。なるべく短期的な部分ですぐに出来ることから攻めることが大事。交通問題解決策は1つではなく、様々な手段の組み合わせで、官民が知恵を出し合うことが必要。 ・ 中心市街地の今後を考え、交通問題を検討することが大事。
副座長	<p style="text-align: center;">【副座長による議論の整理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地の構造改革は何か。それは賑わいをつくることであり人が集まるということ。人と人との交流が大切であり、その機会が一番多い場所が中心市街地であるならば、多々ある可能性の中で、その一助となるものは、市役所の中心市街地への配置であるべき。 ・ 市役所は、ある程度分散配置をして中心市街地の中に溶け込んだ空間が良いのではないかとという意見を（全員ではないが）多くの方が

<p>委員 まちなか活性課長</p>	<p>らいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生会館地区は、立地条件から考えて、新長岡市のハレの場としての「平成の公会堂」機能を重視し、行政機能はそこに埋め込む形が良いという意見が多かった気がする。 交通問題は、きちんと議論することが構造改革の前提条件であるとの指摘があった。自家用車の駐車場問題、公共交通の問題、歩行者優先か車優先かの議論など含め、今後の議論の中で段階的に詰めていかなければならない。 今後、行政機能だけではなく様々な市民サービスをどのような形でやっていくのかを議論する必要がある。例えば、社会福祉協議会との関わり方等「官と民との協働」について考えた時に、何が中心市街地で展開されることが一番良いのか等。 新市民にとっての中心市街地がどのような位置づけでどのような意味を持つのかを、きちんとした形で合意が取れれば、様々なことが進めていけるのではないか。 行政機能再配置についてはどこかでケリをつけなければならない。その後、それを含めて中心市街地の構造改革がどういうものかについて議論し、確固たる意思をもって改革していきたい。 今後の会議の方向性はどのようなものか。 この会議は結論を出す場ではなく、提言も揺れることは無い。構造改革事業を進めていく上での問題点を検討し、その解決策を議論して欲しい。行政はそれを参考に進めていく。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回の構造改革会議では、提言という形式でまとめた。今回も、区切りの意味で「意見書」という形で整理したらどうか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意見書を出すことは区切りとして良いが、この会議では、まだ意見が1つにまとまってはいないので、両論併記の形にして欲しい。行政の再配置については詰めることが多く書き方は工夫して欲しい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民の皆で議論して中心市街地に本当に必要なものをつくる必要がある。その種になるような意見書ができればいいと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> まとめるというより、様々な意見が出たことを記して欲しい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今後の予定について教えて欲しい。
<p>まちなか活性課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次回は1月下旬から2月上旬を目途に開催し、意見書(案)を提案したい。 年度中は、さらにもう1度会議を開催し、本年度の中心市街地構造改革事業の概況や来年度以降の進捗状況を説明したい。 今後は、進捗管理に加え、新しい事業についても助言をもらいながら、都市再生整備計画事業期間である22年度末まで開催したい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> この会議で決まったことは、そのたびに議会で発表するのか。

まちなか活性課長	<ul style="list-style-type: none"> 行政機能再配置の決定には議会の賛同が必要なので、市民や構造改革会議の考え方という意味で参考資料として示す。
<p>(出席委員の署名欄)</p> <p>本議事録については各委員の書名・押印が不要なものとする。</p>	
9 会議資料	別添のとおり